

## 国際法・外交史

木棚照一編著  
プライマリ法学双書

### 国際私法

A5判上製490頁／3900円

(3348-5・16)

国際結婚などの家族法関係や国際契約、国際不法行為などをめぐる財産法関係を規律する基本法である国際私法を、できる限り分かりやすい設例や判例を取り上げて解説する講義用教科書。

木棚照一編著  
プライマリ法学双書

### 国際取引法〔第2版補訂版〕

A5判上製404頁／3300円

(3286-0・11)

私法関係に重点を置いた国際取引法の教科書。民事訴訟法の一部改正による国際裁判管轄権の規定の新設、さらに日本のEPA（経済連携協定）の展開や判例などについて補訂したもの。

中村達也著

### 国際取引紛争〔第3版〕

紛争解決の基本ルール

A5判並製304頁／2800円

(2728-6・19)

国際取引法を学ぶ学生のほか、国際取引の実務を担当するビジネスを対象として、国際取引紛争解決のためにさらに内容をアップデートし、必要な基本ルールを分かり易く解説する概説書。

島田征夫編

### 学習国際条約・判例集

A5判並製106頁／800円

(3285-3・11)

国際法上重要な条約と判例を1冊に収録。条約は年代順に掲載されている。判例は見開き2ページに収められており、国家試験対策にも最適。判例の解説では、他の判例とのクロス・リファレンスが充実しており、国際判例の流れを把握することができる。持ち運びに便利なコンパクト・サイズ。

鶴田順著

### 国際法講義〔第3版〕

副読本

A5判並製160頁／1800円

(3420-8・22)

既存の国際法の教科書ではあまり扱われていない内容に絞って、日本における国際法の実施に焦点をあて、国際法や国際海洋法の講義や演習の「副読本」として用いることを目的とする。

廣江健司著

### 国際民事関係法

A5判上製376頁／3200円

(2545-9・08)

国際私法・国際民事手続法・国際取引法という法分野を裁判の流れに対応して記述する入門書であり、また、この法分野の現在の法状態を理論から実務へ架橋するように論述する概説書。

萬歳寛之著

### 国際違法行為責任の研究

国家責任論の基本問題

A5判上製356頁／5200円

(3334-8・15)

国際法の法規規範性の証明という課題に向き合いつつ、実際の適用可能性のある国家責任法の提示という問題意識に立ち、現代国際法における国家責任法固有の射程の特定を試みる論文集。

萬歳寛之編

## 日台経済交流と国際法

A5判並製352頁／6800円

[3422-2・22]

①経済交流を可能にする法的基盤と②経済交流に伴う人の移動により発生する法律違反事案への協力関係のあり方を検討する。日台若手研究者共同研究事業の研究成果(中文版付)

種村佑介著

## 国際不法行為法の研究

A5判上製406頁／6000円

[3365-2・17]

国境を越えてなされる不法行為がますます多様化・複雑化する現在、それに対処するため、比較法的・歴史的視点から、現代に求められる国際不法行為法のあり方を試みる研究書。

島田征夫著

## 開国後日本が受け入れた国際法

19世紀における慣習国際法の研究

A5判上製426頁／5500円

[3308-9・13]

国際法は欧州を起源とするが、我が国は開国後にそれを知り大陸進出の武器とした。19世紀慣習国際法の研究を通じてその功罪を掘り下げ、現代にも通用する「何か」を模索する。

大村芳昭著

## 国際家族法研究

A5判上製238頁／5000円

[3340-9・15]

「国政私法の現代化をめぐる考察」「法例31条に関する党書」「人際家族法研究の課題」「国際家族法と人際法」などを収録する家族法、国際私法、人際法分野における研究の成果。

大村芳昭著

## 涉外戸籍・国籍法研究

A5判上製216頁／4500円

[3379-9・18]

涉外戸籍・国籍法に関する論考を中心として、さらに、国際家族法に関する判例研究を収録した論文集。

柑本英雄著

## 国際的行為体とアイデンティティの変容

—欧州沿岸辺境地域会議と共通漁業政策をめぐって—

A5判上製238頁／4000円

[6076-5・00]

欧州統合の深化と拡大は、そこで活動する行為体としての国家・地方自治体に影響を及ぼし、これらの深層でアイデンティティの変容をもたらした。本書は、社会情勢の変化の題材として共通漁業政策、行為体として欧州沿岸辺境地域会議をとりあげ、アイデンティティの変容を分析する国際社会学の書である。

斎藤元一著

## 人物日米関係史

万次郎からマッカーサーまで

46判上製216頁／2000円

[7068-X・99]

「世界で最も重要な二国間関係」と言われながら、日米関係で主役をつとめた人びとは歴史のかなたに忘れ去られようとしている。そうした8人にスポットに当て、人柄が分かるエピソードを織り込みながら人物誌をタテ糸、当時の社会情勢をヨコ糸にして、分かりやすさと面白さに重点をおいた異色作である。

多賀秀敏編

## 国際社会の変容と行為体

A5判上製446頁／4200円

[3152-8・99]

輸送通信手段の発達でかつては接触のなかった人びとが触れ合う機会が増大している。これまで中心的行為体であった国家の地位・役割・あり方は、どれも変化しつつある。歴史・理論・非国家行為体の3部から、行為体の分析を通じて、底流から変化する国際社会に関心をもつ読者の知的要求に応える書。

長谷川正国訳

## 現代国際法入門

A 5 判上製768頁／5000円

シャルル・ド・ヴィシエール著

長谷川正国訳

## 国際法における理論と現実

A 5判上製414頁／5500円

J. G. メリルス著・長谷川正国訳

## 新版 国際紛争処理概論

〔原著第4版〕

A 5判上製438頁／4000円

長谷川正国訳

## 国際法の展望および諸論稿

A 5 判上製294頁／5500円

長谷川正国訳

フィリップ・ジェサップ

## トランス・ナショナル・ロー

46判上製184頁／2800円

長谷川正国訳

ジェームズ・L・ブライアリー

## 諸国民の法および諸論稿

A 5 判上製524頁／8500円

櫻田嘉章訳

P. H. ノイハウス

## 国際私法の基礎理論

A 5 判上製530頁／4500円

川上壮一郎・布施 勉監訳

## 海洋、それは人類の未来

海洋問題世界委員会報告書

A 5判並製258頁／3000円

待望されていたエイクハースト『現代国際法入門』のマランチュクによる全面改訂版の日本語訳。国際環境法および国際経済法を含む国際法の全領域が最新の資料によりの確に論じられる。冷戦終結後の国連活動も詳細に分析させる。国際法史の記述の充実ぶりと併せ、国際法の基本問題の論述が一層体系化された。〔3153-6・99〕

シャルル・ド・ヴィシエールはベルギーを代表する国際法学者で、第二次世界大戦後、常設国際司法裁判所が解散するまで裁判官も務めたのち、新設された国際司法裁判所の裁判官に任命され活躍した実務家でもある。その多彩な経験から生まれた本書は、正に国際政治の現実をライフワークとして纏めた名著である。〔3237-2・07〕

国際紛争の平和処理に関する教科書第4版の翻訳。21世紀に入って生じた諸事件やICJ, WTO パネル, ITLOS等の判断を定評のあるコモンセンス・アプローチによりの確に分析する。2003年の米英によるイラク侵入も批判を免れない。国際法・国際政治を研究する学徒の必読書。〔3250-1・08〕

ブライアリーは国際秩序と法の関係について最も深く考えた国際法学者の1人である。本書はブライアリーの真骨頂を堪能できる幻の名著『国際法の展望』と珠玉の論文「国際法における義務の基礎」、「国際法の欠点」、「国際社会における法の支配」、「制裁」、「法、正義、そして戦争」を訳出した。〔3266-2・10〕

本書は20世紀アメリカ合衆国を代表する国際法学者の1人であったジェサップ (Philip Cary Jessup) が1956年に出版した『トランスナショナル・ロー』を全訳したものである。原著は同年にイエール・ロー・スクールで行われたストアース講義をそのまま出版したものである。〔3280-8・11〕

ブライアリー自身の手になる不朽の国際法教科書最終版(第5版)と珠玉の諸論文の翻訳。伝統的国際法の神髄を堪能できる一冊。国際法の基本問題の解明に無限の示唆を与えるであろう。

〔3309-6・13〕

現代国際私法の古典ともいえる本書は、ドイツのみならず世界各国で参照されている。知的財産権、民事訴訟の国際化に伴い、その理論的基礎が問われているが、現代国際私法の理論的基礎を明らかにすることで、渉外法の現代的課題が克服される。国際関係法に関心を有する者にとって必携の書。〔3160-9・00〕

人類全体の立場に立って、利用可能な海洋資源の維持をどのように進めるべきか、地球環境を維持するために海洋環境をどのように管理していくべきか、世界のすべての海洋の安全と平和をどのようにして保障すべきかなどの問題について、世界的な専門家が集めて議論を重ね国連総会へ報告されたもの。〔3168-4・01〕

## 外 国 法

小口彦太・田中信行著

プライマリ法学双書

### 現代中国法〔第2版〕

A5判上製506頁／3500円

現代中国の最重要法分野に関する本格的で詳細な概説書。中国法の構造的特質、党と国家体制、司法制度、刑法、刑事訴訟法、契約法、不法行為法、会社法、社会と法からなり、巻末に中国法のガイダンスを掲げる。中国法を受講する学生のみならず、中国との取引に関心を有する企業人にとっても必読の書。〔3299-0・12〕

西村幸次郎編著

### グローバル化のなかの現代中国法

第2版

A5判上製284頁／2800円

グローバル化の「光と影」、 「功罪」が問われているなか、中国は「外来資源」を導入して国際社会における普遍性を受け入れるとともに「本土資源」を確認して中国的独自性の保持を模索している。この現代中国法の動向について主要な法分野から考察し、日中の法学、文化、学術、経済交流の在り方に示唆を与える。〔3263-1・09〕

李範燦・石井文廣編著

名古屋経済大学叢書3

### 大韓民国法概説

A5判上製256頁／5500円

〔3253-2・08〕

韓国における各種の法の内容と特色を一目で眺めることができる。特定の法分野に偏ることなく、韓国の法と韓国人の法意識に関して、総合的かつ体系的に紹介・解説されている。韓国法への案内的な教科書。

小口彦太著

### 現代中国の裁判と法

A5判上製268頁／6000円

〔0356-7・03〕

一体誰がどのような準則にもとづいて人を裁いてきたのか、また現に裁いているのか、そしてその準則としての法についての観念、思考様式にどのような特色が見出されるかということに留意して書き留めてきた論文集。

小口彦太編著

### 中国契約法の研究

日中民法学の対話

A5判上製530頁／9000円

〔3358-4・17〕

グローバル化する21世紀の市場経済を見据えて制定された中国契約法は実際にどのように機能しているか。制定・施行以来16年が経過した先進的な契約法の理論と実務の動向を探究する。

小嶋明美著

アジア法叢書25

### 現代中国の民事裁判

計画から市場へ、経済改革の深化と民事裁判

A5判上製260頁／4500円

計画から市場へと未曾有の挑戦を続ける中国において、民事紛争はどのように解決されてきたのか。第1部では、急務となった司法と審理方式の改革を我が国との比較において論じ、第2部では、法条と運用、最高法院の解釈等が錯綜し、制定時と大きく異なる現在の中国民事訴訟の概要を解説したものである。〔3219-2・06〕

廣江倫子著

### 香港基本法の研究

「一国兩制」における解釈権と裁判管轄を中心に

A5判上製222頁／6000円

香港返還後、香港では何が起っているのか。本書は、「一国家二制度（一国兩制）」を規定する香港基本法の研究を軸に、移民問題、中国全人代との関係、越境犯罪等に関する香港基本法訴訟および中国と香港の間の法的論争から、「一国兩制」と香港の「高度の自治」の特色および問題点を探る。〔3198-6・05〕



恒見亮著

## 中国夢の法治

その来し方行く末

A5判上製320頁／6000円

「法治」に関わる中国の諸制度・規定における政策の観察と分析・検討を通じ、中国における「法治」の内包・外延を浮き彫りにし、中国の法治が進むべき方向を展望する研究書。

〔3391-1・19〕

久保寛展著

## ドイツ現物出資法の展開

A5判上製232頁／4000円

ドイツで近年盛んに議論されている現物出資規制の潜脱の問題と、商標のライセンスに関する現物出資目的物の適格性の問題について、判例を踏まえながら詳しく検討する。現物出資制度の歴史的考察や統計的資料も用いて、ドイツの現物出資制度の現在の法的問題を明確にする。

〔2459-9・05〕

上村貞美著

香川大学法学会叢書4

## 現代フランス人権論

A5判上製322頁／5500円

現代のフランスにおける人権問題のうち、私人間における人権保障、電話の盗聴規制立法、ビラ貼りの自由、セクシュアル・ハラスメント、映画検閲制、良心的兵役拒否、人権類型論、緊急権に焦点を当て、その光と陰の部分を浮かびあがらせた意欲的な比較憲法研究の書。

〔0387-7・05〕

上村貞美著

香川大学法学会叢書2

## 性的自由と法

A5判上製316頁／5500円

強姦罪、妊娠中絶、姦通・同棲・私通、同性愛、売春等の性をめぐる自由の問題について、人権という視点から、フランス法、ドイツ法、イギリス法、アメリカ法等の比較法研究を試みたもので、性にかかわる憲法・法律問題に関心のある人にとって必読の書。

〔0368-0・04〕

佐藤文彦著

名城大学法学会選書5

## ドイツ国際氏名法の研究

A5判上製442頁／5500円

国際私法上の諸問題について、網羅的に検討を加えるのみならず、国際法、身分登録法、氏名変更法、基本法等の観点からも検討を加え、ドイツ国際氏名法を、総体として解明することに長戦する意欲作。わが国における氏名法制度を改めて考えるうえで、貴重な外国法研究の書。

〔2429-7・03〕

東裕著

## 太平洋島嶼国の憲法と政治文化

フィジー1997年憲法とパシフィック・ウェイ

A5判上製330頁／6000円

太平洋島嶼国と呼ばれる南太平洋に散在する極小国家群がある。それら諸国の憲法と政治文化「パシフィック・ウェイ」を考察する。フィジー諸島共和国憲法(1997年)を中心に、その成立から破棄に至る憲法政治の中に「パシフィック・ウェイ」を探究。太平洋島嶼国の比較憲法・政治学研究の試み。

〔0477-5・10〕

サヴィニー著 小橋一郎訳

## 現代ローマ法体系 第三巻

A5判上製432頁／9000円

ドイツ法学界の泰斗サヴィニーの名著「現代ローマ法体系」(全8巻。1840年-1849年)第3巻の全訳。本巻の本文は、「法律関係の発生と消滅」の前半を論じ、行為能力、意思表示、条件、契約概念などを内容としている。また、本巻の3分の2を占める付録では、錯誤論が広範に取り扱われる。

〔0291-9・98〕

サヴィニー著 小橋一郎訳

## 現代ローマ法体系 第四巻

A5判上製548頁／11000円

ドイツ法学界の泰斗サヴィニーの名著「現代ローマ法体系」(全8巻。1840年-1849年)第4巻(1841年)の全訳。本巻は、「第2編法律関係」のうち「第3章 法律関係の発生と消滅について」の後半を内容とし、贈与、期間、法律事実の無効を取り扱う。

〔0323-0・01〕

小橋一郎訳	ドイツ法学界の泰斗サヴィーニの名著「現代ローマ法体系」(全8巻、1840—1849年)第5巻(1841年)の全訳。本巻は、「第2編法律関係」のうち「第4章 権利の侵害」を内容とし、これに付録XII, XIII, XIV および補遺が付されている。
<b>現代ローマ法体系 第五巻</b>	
A 5 判上製608頁／11000円	[0363-X・03]
小橋一郎訳	ドイツ法学界の泰斗サヴィーニの名著「現代ローマ法体系」(全8巻、1840—1849年)第6巻(1847年)の全訳。本巻は、「第2編法律関係」のうち「第4章 権利の侵害」の真ん中の部分を内容とし、争点決定の本質、効果、判決の確定力、確定の抗弁を扱う。
<b>現代ローマ法体系 第六巻</b>	
A 5 判上製458頁／10000円	[0394-X・05]
サヴィーニ著 小橋一郎訳	私法解釈学の原点を成す、ドイツ法学界の泰斗サヴィーニによって書かれた不朽の名著『現代ローマ法体系』(全八巻、1840年—1849年)待望の邦訳。
<b>現代ローマ法体系 第七巻</b>	
A 5判上製278頁／6000円	[0412-6・07]
サヴィーニ著 小橋一郎訳	サヴィーニ「現代ローマ法体系」(全8巻)の第8巻(1848年)の全訳。「第三編法律関係に対する法規の支配」を内容とし、国際私法および時際法と扱う。
<b>現代ローマ法体系 第八巻</b>	
A 5 判上製412頁／10000円	[0464-5・09]
西原春夫・高銘暄総監修 中国法学会全集10	本書は市場経済体制下の中国弁護士制度の概論書であると同時に、実務書でもある。これは著者自身が長期にわたり実務家として弁護士活動に従事したことによる。中国で国家統一試験に合格した者が弁護士として最初に身につけるべき実務的知識も豊富に要領よく整理されている個性的な入門書である。
<b>中国弁護士制度と弁護士実務</b>	
A 5判上製370頁／5000円	[3191-9・04]
西村幸次郎編著 アジア法叢書27	青海、内蒙古、四川、貴州、雲南、新疆、広西等の少数民族地域における視察・交流をふまえ、中国民族法制の全体的状況を視野に入れ、民族自治権・民族慣習法について具体的な考察を加えるとともに、進行中の西部大開発の問題点を論じ投資環境に対して客観的情報を提供する。
<b>中国少数民族の自治と慣習法</b>	
A 5判上製212頁／3800円	[3241-9・07]
鈴木敬夫編訳	国家主義と人権憲政論との論争である「憲政」か「依憲執政」かをめぐる議論が交わされるなかで、何が実像で何が虚像であるかを陽光の下に晒し、中国憲政論の生きた資料を紹介する。
<b>現代中国の法治と寛容</b>	
国家主義と人権憲政のはざままで	
A 5判上製434頁／8000円	[0612-0・17]
アジア法学会編	慣習法を取り込みつつ地域社会に適合したイスラーム法(シャリーア)の展開と、それを取り巻く様々な問題を、中東と東南アジアを比較しつつ、網羅的に俯瞰することを試みる。
<b>現代のイスラーム法</b>	
A 5 判上製284頁／4800円	[3353-9・16]

---

スティーブン・ブライヤー著  
大林啓吾ほか訳

## 裁判所と世界

アメリカ法と新しいグローバルの現実

A5判並製392頁／6000円

連邦最高裁判官スティーブン・ブライヤーの著書の全訳。グローバル時代における司法の役割や裁判所のあり方について考察する。

[0690-8・21]

---

## 知的財産法

<p>大家重夫著 成文堂選書39 <b>著作権を確立した人々</b>〔第2版〕 福澤諭吉先生、水野鍊太郎博士、プラウゲ博士… 46判上製262頁／2200円</p>	<p>日本に「コピライト」の概念を導入し、自著の海賊版撲滅を実行した福澤諭吉、旧著作権法立案の水野鍊太郎、強引に著作権料を取立てて嫌われたが著作権管理の教師と評価されるドイツ人プラウゲ博士を中心に、著作権事件と人物を描く。2版には、最近、故人となった河野愛、米川猛郎、赤松美登里を追加。〔3185-4・04〕</p>
<p>高林龍編著 <b>著作権ビジネスの理論と実践</b> 早稲田大学ロースクール著作権法特殊講義 A 5判並製504頁／5000円</p>	<p>早稲田大学大学院法務研究科（ロースクール）における平成21年度の正規授業「著作権法特殊講義」を完全に再現したもの。著作権法や著作権ビジネスを語るに相応しい、わが国を代表するといつて良い錚々たるメンバーが講師として名を連ねる。〔3273-0・10〕</p>
<p>高林龍編著 <b>著作権ビジネスの理論と実践II</b> 早稲田大学ロースクール著作権法特殊講義3 A 5判並製442頁／4500円</p>	<p>著作権法や著作権ビジネスをめぐる最先端の問題点を精鋭の講師陣が解説する平成22年度早稲田大学ロースクール再現講義。〔3292-1・11〕</p>
<p>高林龍編著 <b>著作権侵害をめぐる喫緊の検討課題</b> 早稲田大学ロースクール著作権法特殊講義2 A 5判並製350頁／4200円</p>	<p>早稲田大学大学院法務研究科の連続公開講座を再現したもの。第一線で活躍する国内の研究者・実務家はもとより、海外からもゲストを招聘し、活気ある講義が行われる。著作権ビジネスや著作権侵害の諸相を知ったうえで、そこに含まれている法的問題点を明らかにし、その解決の方向性を示そうといった意欲的なものとなった。〔3283-9・11〕</p>
<p>高林龍編著 <b>著作権侵害をめぐる喫緊の検討課題II</b> 早稲田大学ロースクール著作権法特殊講義4 A 5判並製382頁／4500円</p>	<p>第一線で活躍する国内外の研究者・実務家による早稲田大学大学院法務研究科の連続公開講座の完全再現。著作権ビジネスや著作権侵害の諸相を概観しつつ、その解決の方向性を示す。〔3302-7・12〕</p>
<p>高林龍編著 <b>知的財産権侵害と損害賠償</b> A 5判並製294頁／5500円</p>	<p>日本弁理士会中央知的財産研究所での議論の集積を取り纏めたもの。〔3281-5・11〕</p>
<p>山口直樹著 <b>知的財産権と国際貿易</b> A 5判上製334頁／3200円</p>	<p>グローバル経済時代の国際的な知的財産権保護のルールとは何か。技術革新の促進と技術の移転・普及に資する制度のあり方について、貿易と経済発展の視点から考察する。第I部世界経済統合化と知的財産権、第II部WTOと知的財産権、第III部知的財産権と経済発展、補論知的財産権の制度と経済学から構成。〔3269-3・10〕</p>

菱沼剛著

## 孤児著作物問題の研究

既存規範の動態的な分析と新規範の確立に向けての可能性

A 5 判上製302頁／6000円

孤児著作物問題を鳥瞰し、国際規範の見地を中心に解決策を探る。無方式主義を条約法体系に沿って検討し、制定経緯や各国法も検証しつつ動態的に分析する。権利制限・例外に関する既存規範の修正、知的財産権に関する準拠法の新規範も検討し、実務的観点に言及しつつ諸解決策の可能性と相互関係を探る。 [3291-4・11]

帖佐隆著

久留米大学法政叢書16

## 職務発明制度の法律研究

A 5判上製346頁／5000円

発明対価の問題を含む職務発明制度は、いかに発明へのインセンティブ（動機づけ）を与えるかに関係し、非常に重要な制度である。しかし、諸事情により、この制度については、なかなか正鵠を射た論が語られにくい。この点、特許法の目的や制度趣旨に鑑み、法的見地から検討を加えたのが本書である。 [3225-9・07]

金春陽著

## 営業秘密の法的保護

アメリカ・中国・日本の比較法研究

A 5判上製192頁／4000円

日本の企業への関心が強く、近時急速に法整備がすすむ中国と、一種のグローバルスタンダードを構築してきたアメリカの営業秘密法制について考察する。さらに、両国との比較法的考察を踏まえ、問題が山積する日本の営業秘密の保護について、先行業績を確認するとともに、問題解決の方向性を示す。 [3232-7・07]

結城哲彦著

## 営業秘密の管理と保護

A 5判上製388頁／6500円

[3337-9・15]

知的財産の中で、非公開・秘匿化の形で公開された技術を補完しているノウハウという技術上及び営業上の情報群を保護するための重要な法制度である営業秘密制度の管理と保護を論じる。

本山雅弘著

## 著作隣接権の理論

A 5判上製464頁／7000円

[3407-9・21]

ドイツ法議論において生成・確定された著作隣接権概念を比較研究の対象とし、わが国の現行著作権法の基本的な骨格をなす著作隣接権の概念についての体系的意義を解明する。

# 諸 法

宮川成雄編著

## 法曹養成と臨床法学教育

A5判並製280頁／2500円

高地茂世・納谷廣美・中村義幸・芳賀雅顯著  
 明治大学社会科学研究所叢書

## 戦後の司法制度改革

その軌跡と成果

A5判上製262頁／5000円

角紀代恵・新美育文・鎌田薫・高窪利一・鈴木重勝著

## ロースクールを考える

21世紀の法曹養成と法学教育

A5判並製310頁／2800円

近江幸治編

## クリニック教育で法曹養成 はどう変わったか？

A5判並製112頁／1800円

阿部和光編

久留米大学法政叢書17

## 転換期の市民社会と法

A5判上製256頁／3800円

吉田勇編著

熊本大学法学会叢書7

## 法化社会と紛争解決

A5判上製266頁／4200円

吉田勇編著

熊本大学法学叢書9

## 紛争解決システムの新展開

A5判上製328頁／5300円

学問の自由を享受する大学でこそ可能な法曹養成の新しい教育方法論として、臨床法学教育の効用と課題を検討する。民事・刑事のリーガル・クリニックだけでなく、先端的な知的財産法クリニックや国際契約交渉シミュレーションの実践等を報告する。また法科大学院生によるプログラム評価も収録する。 [0418-8・07]

戦後の司法制度改革について、日本における占領下の司法制度改革全般、ドイツにおける占領下の司法制度改革、日本における民事訴訟制度の司法改革、日本における行政訴訟制度の司法改革、および日本における家庭裁判所の司法改革をテーマとして設定し、終戦後の議論にまでさかのぼって歴史的経緯と背景の考察を試みる。 [3224-2・07]

よりよい法律実務家を大量に養成するシステムとして、法科大学院構想が最良のものということが出来るか否か？ わが国の法と法学あるいは法曹のあり方に劇的な変化をもたらしかねない構想に対して、国民の一人として、法律専門家の一人として、使命感に基づき五人の著者が各々の視点から発言する。 [0340-0・02]

法曹基礎教育の内容や方法について、担当教員、法科大学院生、法曹関係者が忌憚のない批判や意見交換を行った、大学併設のリーガル・クリニック創設10周年記念シンポジウムの記録。

1裁判員制度の導入をはじめとした司法制度改革の理念と現実、憲法制定と改正の基礎にある原理、家族のあり方をめぐる民法改正論議の動向、企業買収とその防衛手段の法的評価、刑事立法ラッシュの中での司法の役割、高齢社会における雇用制度改革と課題…変革を求められる法システムの行方を分析する。 [9178-2・08]

社会の法化により、法の役割も紛争解決のあり方も大きく変わりつつある。紛争の解決に法を使う必要が高まってきたが、法の役割の拡大は、かえって私たちに法の限界を認識するように促し、非法的な紛争解決の必要をも示唆している。そこで本書は、おもに裁判外の紛争解決制度の新しい動きを追ってみた。 [8058-8・06]

社会の法化に応じて日常世界の秩序を意味づけ直すためにも、紛争解決システムを再構築するためにも、新しい実践知が求められている。それに応じて、第一部は、紛争解決システムと日常世界の新しい関係づけに取り組み、第二部は、生活諸領域において必要とされている紛争解決システムの再構築を試みる。 [8062-5・09]

吉田勇著

熊本大学法学会叢書11

## 対話促進型調停論の試み

A 5 判上製296頁／5000円

日本社会では今「法化」と成熟化が同時進行しており、紛争当事者は「納得のいく解明」を求めるようになっていくが、そのような解決を可能にする社会的条件と紛争解決手段上の条件を探ることが、本書の課題である。ADR としての調停のなかでも、とくに対話促進型調停の可能性に焦点をあてる。〔8064-9・11〕

山崎広道編著

熊本大学法学会叢書10

## 法と政策をめぐる現代的変容

熊本大学法学部創立30周年記念

A 5 判上製482頁／6000円

熊本大学法学部創立30周年を記念した論文集である。本書は、二部構成になっており、第一部「法をめぐる現代的変容」では11編、第二部「政策をめぐる現代的変容」では6編の論文が収められている。大きな変革の波が打ち寄せる現代社会における法と政策に関する諸分野の課題を変容という視点から考察する。〔8063-2・10〕

熊本大学法学部編

熊本大学法学会叢書18

## 熊本地震と法・政策

A 5 判上製358頁／6000円

〔0707-3・22〕

熊本県内に甚大な被害をもたらした「平成28年熊本地震」からの復旧・復興にあたっての法学的・政策的課題を検討。実践社会科学の手法による熊本大学法学系及びエルベルク研究活動の成果。

平田勇人著

## 続・AIによる紛争解決支援

人工知能の活用可能性

A 5 判上製172頁／4000円

〔8086-1・21〕

現代的諸問題として、第3章でゴミ屋敷問題、第4章で課税問題、第5章で労働問題を取り上げて分析・検討し、法学と人工知能との文理融合、人工知能の活用可能性について分析する論文集。

濱田邦夫・小池振一郎・牧野茂編著

## 裁判員裁判のいま

市民参加の裁判員制度7年経過の検証

A 5 判並製244頁／2500円

〔5208-0・17〕

制度開始から7年を経た現在、裁判員制度の評価すべき点と課題を、裁判員経験者の生の声を伝え、裁判員経験者ネットワークの活動も振り返りつつ、課題解決へ向けた努力の軌跡の記録。

中尾巧著

## 若手弁護士のための弁護実務入門

46判上製264頁／2200円

〔0704-2・22〕

刑事・民事・家事・税務・労働・交通・知財・国際関係事件など様々な案件を取り上げ、二部構成のストーリー形式でわかりやすく解説。直ぐに役立つ弁護実務のノウハウ・知見を公開！

中尾巧編著

## 若手弁護士のための弁護実務入門2

46判上製396頁／2900円

〔0720-2・23〕

民商事編、労働編、家事・税務編、刑事・行政編、国際編の構成で、事件の受任から解決までの弁護実務のプロセスをストーリー形式で平易に解説。若手弁護士入門シリーズ待望の第2弾！

立正大学法学部・法制研究所編

グリーンブックレット13

## 士業資格の可能性と求められる法学教育

A 5 判並製64頁／800円

〔9266-6・17〕

税理士、社会保険労務士、行政書士等が、国際化や少子高齢社会の到来で複雑多様な活動を求められている現在、そのような社会的要請に応えられる士業を養成するための法学部教育を模索する。



---

早稲田大学法務教育研究センター編

## 挑戦する法曹たち

法律家のキャリアマップ

A5判並製238頁／1800円

法律という武器を使い、社会のさまざまな問題を解決しようと挑戦する法曹たちの群像。法律を学ぶ意味と法曹の仕事の魅力を知り、法曹を目指そう！ 早稲田大学の人気授業を再現！

[0686-1・21]

---